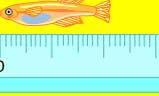


# ばわあ ちえつくかあど 1ねん ( )

<b>A.ICT</b> <b>かつよう</b> 	チエツク	<b>B.じょうほうを</b> <b>あつめる</b> 	チエツク	<b>C.じょうほうを</b> <b>まとめる</b> 	チエツク	<b>D.じょうほうを</b> <b>つたえる</b> 	チエツク
<b>1.コンピューター</b> <b>とであう。</b> 		<b>1.かんさつをし</b> <b>てあつめる。</b> 		<b>1.てがみやえ</b> <b>につきにし</b> <b>てまとめる。</b> 		<b>1.みせてつたえ</b> <b>る。</b> 	
1-1.でんげんをい れたり,けしたりでき る。		1-1.かんさつ(みる, さ わる, におぐ, きく, お もう)をしてじょうほうを あつめることができる。		1-1.てがみにして まとめることができ る。		1-1.じつぶつをみ せてつたえることが できる。	
1-2.マウスをつかう ことができる。		<b>2.えやしやしん</b> <b>からあつ</b> <b>める。</b> 		1-2.えにつきにして まとめることができ る。		1-2.かみにまとめ てつたえることがで きる。	
<b>2.デジタルカメラ</b> <b>などのICTをつ</b> <b>かう。</b> 		2-1.えやしやしん からじょうほうをあ つめることができ る。		<b>2.ちらしにまと</b> <b>める。</b> 		1-3.かんたんなげ きにまとめてつたえ ることができる。	
2-1.デジタルカメラ でとりたいものをと ることができる。	*	<b>3.ぶんしょうから</b> <b>あつめる。</b> 		2-1.つたえたいこと がつたわるちらしに まとめることができ る。		1-4.ICTでかみに まとめたものをおお きくしてつたえるこ とができる。	*
2-2.デジタルカメラ でとったものをみる ことができる。	*	3-1.ぶんしょうをよ んでじょうほうをあ つめることができ る。		<b>3.ぶんしょうにま</b> <b>とめる。</b> 		<b>2.わかりやすく</b> <b>つたえる。</b> 	
2-3.かみにまとめ たものをおおがた テレビなどにうつす ことができる。	*	<b>4.ひとにきいて</b> <b>あつめる。</b> 		3-1.たいせつなことば をかんがえて, みじか いぶんしょうにまとめ ることができる。		2-1あいてのほうを みて,はなすことが できる。	
		4-1.ひとにしつもん してじょうほうをあ つめることができ る。				2-2.しせいよくはな すことができる。	
		<b>5.デジタルカメラ</b> <b>であつ</b> <b>める。</b> 				2-3.くちをおおきく あけてはなすことが できる。	
		5-1.デジタルカメラで とったしやしんからひつ ようなしやしんをえらぶ ことができる。					

# パワーチェックカード 2年 ( )

<b>A.ICTかつよう</b> 	<b>B.じょうほうをあつめる</b> 	<b>C.じょうほうをまとめる</b> 	<b>D.じょうほうをつたえる</b> 
<b>1.ICTについてしり、つかう。</b> 	<b>1.見てはかってあつめる。</b> 	<b>1.せつめい文にまとめる。</b> 	<b>1.ICTでうつし出してつたえる。</b> 
1-1.コンピュータやそのほかのICTのしくみをしている。	1-1.かんさつして、ひつようなじょうほうをあつめることができる。	1-1.あつめたじょうほうをせつめい文にまとめることができる。	1-1.しゃしんやもの、かみにまとめたものをICTで大きくうつしてつたえることができる。
1-2.コンピュータで絵をかくことができる。	1-2.ながさやおもさをはかって、ひつようなじょうほうをあつめることができる。	<b>2.かんさつきろく文にまとめる。</b> 	<b>2.わかりやすくつたえる。</b> 
1-3.デジタルカメラでさつえいできる。	<b>2.えや文しょうからあつめる。</b> 	2-1.かんさつきろく文にまとめることができる。	2-1.つたえたいことはっきりとさせ、わかりやすくつたえることができる。
<b>2.ICTをよりよくつかう。</b> 	2-1.えやしゃしんと文しょうをてらしあわせて、ひつようなじょうほうをあつめることができる。	<b>3.しょうかい文にまとめる。</b> 	2-2.こえの大きさ、はやさ、かおのむきにちゅういして、はっきりとしたはつ音でつたえることができる。
2-1.デジタルカメラでとったものをさいせいしてかくにんすることができる。	<b>3.文しょうからあつめる。</b> 	3-1.しょうかいするためにひつようなことを考え、そのことを入れてしょうかい文にまとめることができる。	2-3.きく人が見やすいように立つばしょや、見せたいもののおきばしょをかんがえてつたえることができる。
2-2.デジタルカメラでとったものをけすことができる。	3-1.文しょうからひつようなことばや文をぬきだして、じょうほうをあつめることができる。	<b>4.手紙にまとめる。</b> 	2-4.見せたいものをさしながらつたえることができる。
2-3.大きくうつしてはっぴょうするために、デジタルテレビをつかうことができる。	<b>4.デジタルカメラをつかう。</b> 	4-1.だれになにをつたえるのかをはっきりさせて手紙にまとめることができる。	
2-4.大きくうつしてはっぴょうするために、プロジェクタをつかうことができる。	4-1.デジタルカメラをつかって、ひつようなじょうほうをあつめることができる。	<b>5.文章にまとめる。</b> 	
2-5.大きくうつしてはっぴょうするために、デジタルテレビをつかうことができる。	<b>5.手紙であつめる。</b> 	5-1.はじめ・中・おわりをかんがえて文しょうを書くことができる。	
2-6.大きくうつしてはっぴょうするために、じつぶつとうえいきをつかうことができる。	5-1.手紙でひつようなじょうほうをあつめることができる。	<b>6.わかりやすくまとめる。</b> 	
	<b>6.あつめたじょうほうを書きとる。</b> 	6-1.えや文、しゃしんなどをくみあわせてまとめることができる。	
	6-1.ひつようなことをききおとさないように、メモやノートに書きとることができる。	6-2.じゅんじよをあらわすひょうげんをつかってまとめることができる。	

# パワーチェックカード 3年 ( )

<b>A.ICT活用</b> 	チェック	<b>B.じょうほうを集める</b> 	チェック	<b>C.じょうほうをまとめる</b> 	チェック	<b>D.じょうほうを伝える</b> 	チェック
<b>1.デジタルカメラとコンピュータを使う。</b> 		<b>1.インタビューをして集める。</b> 		<b>1.手紙やメール、葉書にしてまとめる。</b> 		<b>1.こうかてきに伝える。</b> 	
1-1.デジタルカメラでとったものを、コンピュータに取りこめる。		1-1インタビューをするために、聞きたいことなどを考え、準備をすることができる。		1-1.手紙の書き方が分かり、くわしい内容を入れてまとめることができる。		1-1.実物や紙などにまとめたものをみせて伝えることができる。	
<b>2.キーボードを使う。</b> 		1-2.インタビューの結果を整理してひつようなじょうほうを集めることができる。		1-2.メールの書き方が分かり、くわしい内容を入れてまとめることができる。		1-2.コンピューターでまとめたものをみせて伝えることができる。	
2-1.キーボードの正しい指使いで自分の名前や言葉をうつことができる。		1-3. 準備したことをもとに、よりよい言葉づかいでインタビューをすることができる。		1-3.葉書(はがき)の書き方が分かり、くわしい内容を入れてまとめることができる。		1-3.まとめたものをICTを使ってわかりやすく伝えることができる。	
<b>3.ファイルの保そんとい動</b> 		<b>2.見学をして集める。</b> 		<b>2.ほうこくする書き方でまとめる。</b> 		<b>2.感想を伝える。</b> 	
3-1.決められたフォルダに、わかりやすい名前をつけて保そんすることができる。		2-1.じっさいに見学をしてひつようなじょうほうを集めることができる。		2-1.ほうこくする文章の書き方でまとめることができる。		2-1.まとめたものを読み合っておたがいに感想を伝え合う。	
3-2.ファイルを別のフォルダにうつすことができる。		<b>3.実験をして集める。</b> 		<b>3.ポスターやリーフレットパンフレットにまとめる。</b> 		<b>3.わかりやすく伝える。</b> 	
<b>4.インターネットを使う。</b> 		3-1.実験をしてひつようなじょうほうを集めることができる。		3-1.かんたんなポスターにしてまとめることができる。		3-1.「です・ます」調と「だ・である」調を使い分けながら伝えることができる。	
4-1.ホームページを作るときのルールを知っている。		<b>4.図書しりょうから集める。</b> 		3-2.かんたんなリーフレットにしてまとめることができる。		3-2.相手の方を見ながら、大切な言葉がわかるようにくふうして伝えることができる。	
4-2.電子メールを使うときのルールを知っている。		4-1.調べたいことについて書かれた本からひつようなじょうほうを集めることができる。		3-3.かんたんなパンフレットにしてまとめることができる。		3-3.声の大きさをかえたり、間をあけたりして伝えることができる。	
<b>5.アプリケーションソフトを使う。</b> 		<b>5.デジタルカメラで集める。</b> 		<b>4.新聞にまとめる。</b> 		3-4.身ぶりや手ぶりを入れてわかりやすく伝えることができる。	
5-1.さまざまなソフトを立ち上げることができる。		5-1.デジタルカメラでとった写真からひつような写真をえらぶことができる。	*	4-1.かんたんな新聞にまとめることができる。			
5-2.さまざまなソフトで写真をはりつけまとめることができる。		5-2.デジタルカメラでとった音声をさい生し、ひつようなじょうほうを集めることができる。	*	<b>5.アプリケーションソフトでまとめる。</b> 			
5-3.さまざまなソフトで文字をいれてまとめることができる。		<b>6.じしよを使って集める。</b> 		5-1.ソフトを使って文章でまとめることができる。	*		
<b>6.ICTをよりよく使う。</b> 		6-1.じしよを使ってひつようなじょうほうを集めることができる。		5-2.ソフトを使って文章と写真を使いながらまとめることができる。	*		
6-1.デジタルカメラでとった写真からひつような写真をえらぶことができる。	*	<b>7.その他の方法を使って集める。</b> 		<b>6.プレゼンテーションソフトでまとめる。</b> 	*		
6-2.デジタルカメラでとった音声を、さい生しひつようなじょうほうを集めることができる。	*	7-1.絵や写真、文章、図、表、グラフ、映像などのしりょうからひつようなじょうほうを集めることができる。		6-1.ソフトをつかって4まいくらいのプレゼンテーションしりょうにまとめることができる。	*		
6-3.デジタルカメラでまとめ方や伝え方をいしきしながら写真や動画、音声をとることができる。		<b>8.じょうほうをせいりする。</b> 		<b>7.わかりやすくまとめる。</b> 			
6-4.デジタルカメラでとった写真を大きくうって伝えることができる。		8-1.じょうほうをグループ分けし、ひつようなじょうほうを集めることができる。		7-1.しりょうをみてまとめることができる。			
6-5.プレゼンテーションソフトでつくったしりょうを大きくうって伝えることができる。		<b>9.くらべながら集める。</b> 		7-2.しりょうからぬきだしてまとめることができる。			
6-6.ノートやじつぶつなどを大きくうって伝えることができる。		9-1.書かれていることや考えていることをくらべながらじょうほうを集めることができる。		7-3.大切な言葉の大きさや字のかたちをかえて目立つようにしてまとめることができる。			
		<b>10.しつもんして集める。</b> 					
		10-1.はなしをきいて、もっと知りたいことをしつもんすることができる。					

# パワーチェックカード 4年 ( )

A.ICT活用 	B.情報を集める 	C.情報をまとめる 	D.情報を伝える 
<b>1.デジタルカメラとコンピュータを使う。</b> 	<b>1.アンケートで集める。</b> 	<b>1.アンケートの結果からまとめる。</b> 	<b>1.手紙で伝える。</b> 
1-1.デジタルカメラで撮ったものを、コンピュータに取り込める。	1-1.アンケートを作成することができる。	1-1.アンケートの結果からわかったことに自分の考えを入れてまとめることができる。	1-1.手紙に必要な情報を書いて伝えることができる。
1-2.デジタルカメラから取り込まれた写真などのファイルをスライドや文書などにはり付けることができる。	1-2.アンケートを回収し、結果を整理して必要な情報を集めることができる。	<b>2.報告書にまとめる。</b> 	<b>2.ICTでうつつし出して伝える。</b> 
1-3.デジタルカメラで撮った写真を印刷することができる。	<b>2.インターネットで集める。</b> 	2-1.絵や写真、文章、図、表、グラフなどをわかりやすく組み合わせて報告書にまとめることができる。	2-1.プレゼンテーション資料にまとめたものを大きくうつつし、指し示しながらわかりやすく伝えることができる。★
<b>2.キーボードを使う。</b> 	2-1.インターネットでキーワードを組み合わせて、調べたいことを調べることができる。★	<b>3.新聞にまとめる。</b> 	2-2.ノートなどにまとめたものを、大きくうつつし、指し示したり、拡大したりしてわかりやすく伝えることができる。★
2-1.キーボードの正しい指使いで言葉や短い文章を打つことができる。	<b>3.デジタルカメラで集める。</b> 	3-1.新聞の目的と特徴を理解している。	<b>3.わかりやすく伝える。</b> 
<b>3.ファイルの保存と移動</b> 	3-1.デジタルカメラで撮った写真から必要な写真を選ぶことができる。★	3-2.絵や写真、文章、図、表、グラフをわかりやすく組み合わせて新聞にまとめることができる。	3-1.聞いている人の表情、視線、しぐさなどの反応を見ながら、伝えたい部分を指し示したり声の調子を変えたりするなどの工夫をして伝えることができる。
3-1.決められたフォルダに、わかりやすい名前をつけて保存することができる。	3-2.デジタルカメラで撮った動画を再生し、必要な情報を集めることができる。★	<b>4.リーフレットにまとめる。</b> 	3-2.注目してほしいところに丸やアンダーラインなどの印をつけながら話すことができる。
3-2.ファイルの名前を変えて保存し直すことができる。	3-3.デジタルカメラでとった音声を、再生し必要な情報を集めることができる。★	4-1.写真と文章を関わらせ、リーフレットにまとめることができる。	3-3.友だちの発表と自分の考えをつなげて、関わらせながら伝えることができる。
3-3.ファイルを別のフォルダに移すことができる。	3-4.デジタルカメラでまとめ方や伝え方を意識しながら写真や動画、音声撮ることができる。★	<b>5.アプリケーションソフトでまとめる。</b> 	<b>4.伝える方をよりよくする。</b> 
<b>4.インターネットを使う。</b> 	<b>4.今まで学習した方法から選んで集める。</b> 	5-1.文書作成ソフトの特徴がわかり、ソフトを使って文書にまとめることができる。★	4-1.自分の発表の仕方と友だちの発表の仕方を比べて、より良く伝えるためにどのように発表すれば良いのかについて考えることができる。
4-1.インターネットで検索する際のルールやマナーを理解している。	4-1.課題を解決するために、今までに学習した調べる方法から、良い方法を選び情報を集めることができる。	5-2.表計算ソフトの特徴がわかり、ソフトを使って表やグラフにまとめることができる。★	
4-2.インターネットでキーワードを組み合わせて、調べたいことを調べることができる。★	<b>5.集めた情報を分けて整理する。</b> 	5-3.プレゼンテーションソフトの特徴がわかり、ソフトをつかってプレゼンテーション資料にまとめることができる。★	
<b>5.アプリケーションソフトを使う。</b> 	5-1.必要な情報と不必要な情報を分け、整理して情報を集めることができる。	5-4.様々なソフトで写真や絵、図、文字を組み合わせて資料にまとめることができる。★	
5-1.文書作成ソフトの特徴がわかり、ソフトを使って文書にまとめることができる。★	5-2.グループに分けて整理し、必要な情報を集めることができる。	<b>6.文章にまとめる。</b> 	
5-2.表計算ソフトの特徴がわかり、ソフトを使って表やグラフにまとめることができる。★	<b>6.計画を立てて集める。</b> 	6-1.「です・ます」と「だ・である」が混ざらないようにしてまとめることができる。	
5-3.プレゼンテーションソフトの特徴がわかり、ソフトをつかってプレゼンテーション資料にまとめることができる。★	6-1.計画を立てて情報を集めることができる。	6-2.引用をしてまとめることができる。	
<b>6.ICTをよりよく使う。</b> 	<b>7.集めた情報を並べて整理する。</b> 	6-3.要約してまとめることができる。	
6-1.デジタルカメラで撮った写真から必要な写真を選ぶことができる。★	7-1.集めた情報をまとめやすいように順番などを決めて並べることができる。	<b>7.わかりやすくまとめる。</b> 	
6-2.デジタルカメラ撮った動画を再生し、必要な情報を集めることができる。★	<b>8.インタビューや会話から集める。</b> 	7-1.吹き出しや矢印をつけてわかりやすくまとめることができる。	
6-3.デジタルカメラでとった音声を、再生し必要な情報を集めることができる。★	8-1.人との会話などから、必要な情報と必要でない情報を聞き分けて集めることができる。	7-2.大切な部分などの色を変えたり、色を変えて事柄をグループ分けしたりすることができる。	
6-4.デジタルカメラでまとめ方や伝え方を意識しながら写真や動画、音声撮ることができる。★	<b>9.観察、実験など体験から集める。</b> 	<b>8.まとめたものをよりよくする。</b> 	
6-5.様々なソフトで写真や絵、図、文字を組み合わせて資料にまとめることができる。★	9-1.目、耳、鼻、手、心で情報を集めることができる。	8-1.書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるように書き足したり書き直したりしてまとめることができる。	
6-6.プレゼンテーション資料にまとめたものを大きく映して、指し示しながらわかりやすく伝えることができる。★	9-2.ものさし、温度計などの道具を使って計測し、情報を集めることができる。	<b>9.話し合ってまとめる。</b> 	
6-7.ノートなどにまとめたものを大きくうつつし、指し示したり、拡大したりしてわかりやすく伝えることができる。★	9-3.以前の経験と比べて同じ部分や違いに気づくことができる。	9-1.クラスやグループ、となりの人と話し合い、考えをまとめることができる。	

# パワーチェックカード 5年 ( )

<b>A.ICT活用</b>  チエック	<b>B.情報を集める</b>  チエック	<b>C.情報をまとめる</b>  チエック	<b>D.情報を伝える</b>  チエック
<b>1.キーボードを使う。</b> 	<b>1.辞典で集める。</b> 	<b>1.文章にまとめる。</b> 	<b>1.ICTで伝える。</b> 
2-1.キーボードの正しい指使いで文章を打つことができる。	1-1.自分から漢字辞典を使って情報を集めることができる。	1-1.活動報告書の型にそってまとめることができる。	1-1.わかりやすく伝えるためによりよいICTをえらんで伝えることができる。★
<b>2.ファイルの保存と移動</b> 	1-2.自分から国語辞典を使って情報を集めることができる。	1-2.提案書の型にそってまとめることができる。	<b>2.わかりやすく伝える。</b> 
2-1.フォルダをつくることができる。	<b>2.新聞から集める。</b> 	<b>2.アプリケーションソフトでまとめる。</b> 	2-1.共通語を使って伝えることができる。
2-2.フォルダにつける名前を工夫して、ファイルを整理することができる。	2-1.新聞から必要な情報を集めることができる。	2-1.目的に合わせてよりよいアプリケーションソフトをえらぶことができる。★	2-2.聞き手が注目するような工夫をして伝えることができる。
<b>3.インターネットを使う。</b> 	2-2.記事を読み比べて同じところやちがうところを見つけて情報を集めることができる。	<b>3.新聞にまとめる。</b> 	2-3.聞き手の反応を見ながら聞き手に合わせて伝えることができる。
3-1.インターネットで検索することができる。	<b>3.人に聞いて集める。</b> 	3-1.集めた情報をもとに、より伝わりやすい記事の書き方を考えてまとめることができる。	<b>3.伝え方をよりよくする。</b> 
3-2.メールを送ることができる。	3-1.目的に合った聞き方を考えてインタビューすることができる。	3-2.集めた情報を基により伝わりやすく編集してまとめることができる。	3-1.発表を聞いて、伝え方についてアドバイスをする。
<b>4.アプリケーションソフトを使う。</b> 	3-2.その場にあった聞き方を考えてインタビューをすることができる。	<b>4.根拠(こんきよ)をしめしてまとめる。</b> 	3-2.書いたものを読み合ってまとめる方について助言する。
4-1.課題や目的に合わせてアプリケーションソフトをえらび、まとめることができる。★	<b>4.資料から集める。</b> 	4-1.引用してまとめることができる。	
<b>5.ICTをよりよく使う。</b> 	4-1.統計資料(円グラフ、棒グラフ、表など)から情報を集めることができる。	4-2.実例を挙げてまとめることができる。	
5-1.目的に合わせてよりよいICTをえらんで情報を集めることができる。★	<b>5.ICTを使って集める。</b> 	4-3.考えと根拠を区別してまとめることができる。	
5-2.プレゼンテーションソフトを使って写真や図、表、文章を組み合わせた資料にまとめることができる。★	5-1.インターネットで検索して情報を集めることができる。★	4-4.グラフや表を引用してまとめることができる。	
5-3.まとめたものを発表するためによりよくICTをえらんで使うことができる。★	5-2.電子メールで情報を集めることができる。★	4-5.いくつかの資料を組み合わせるとまとめることができる。	
<b>6.集めた情報を選択・整理する。</b> 	6-1.集めた情報から必要な情報をえらぶことができる。	<b>5.わかりやすくまとめる。</b> 	
6-2.集めた情報を比べて、整理することができる。	6-2.集めた情報を比べて、整理することができる。	5-1.まとめる際に「指し示す」意味の矢印を使ってまとめることができる。	
6-3.集めた情報を分類分けして、整理することができる。	6-3.集めた情報を分類分けして、整理することができる。	5-2.まとめる際に「動きを表す」意味の矢印を使ってまとめることができる。	
6-4.集めた情報を並べて、整理することができる。	6-4.集めた情報を並べて、整理することができる。	5-3.まとめる際に「時間の変化を表す」意味の矢印を使ってまとめることができる。	
6-5.集めた情報を並べて、整理することができる。	6-5.集めた情報を並べて、整理することができる。	5-4.矢印に意味をもたせてまとめることができる。	
6-6.集めた情報を並べて、整理することができる。	6-6.集めた情報を並べて、整理することができる。	5-5.伝えたい順序や強調したい部分に、番号や記号、印などをつけてまとめることができる。	

# パワーチェックカード 6年 ( )

<b>A. ICT活用</b>  チエック	<b>B. 情報を集める</b>  チエック	<b>C. 情報をまとめる</b>  チエック	<b>D. 情報を伝える</b>  チエック
<b>1. キーボードを使う。</b> 	<b>1. インターネットや電子メールで集める。</b> 	<b>1. パンフレットにまとめる。</b> 	<b>1. ICTでうつし出して伝える。</b> 
1-1. キーボードで10分間に200字程度の文字を入力することができる。	1-1. 課題を解決するために、インターネットや電子メールを選び、情報を集めることができる。	1-1. 絵や写真、文章、図、表、グラフ、キャッチコピーなど工夫してパンフレットにまとめることができる。	1-1. プレゼンテーション資料にまとめたものを大きくうつして、指し示しながらわかりやすく伝えることができる。
<b>2. フォルダを作って保存する</b> 	<b>2. ICTを使って集める。</b> 	<b>2. アプリケーションソフトでまとめる。</b> 	1-2. ノートなどにまとめたものを、大きくうつして、指し示したり、拡大したりしてわかりやすく伝えることができる。
2-1. 教科や単元などに分けてフォルダを作成し、整理してファイルを保存することができる。	2-1. 今までに学習したICTを使った調べ方から良い方法を選び、情報を集めることができる。	2-1. 課題を達成するために、よりよいアプリケーションソフトを選びまとめることができる。	<b>2. 敬語で伝える。</b> 
<b>3. インターネットを使う。</b> 	<b>3. 計画を立てて集める。</b> 	<b>3. 説得力をもつようにまとめる。</b> 	2-1. 相手や場に応じて、敬語を使って伝えることができる。
3-1. 課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールを活用することができる。	3-1. 時間的な見通しと、まとめたり伝えるときのイメージを基に、計画を立てて情報を集めることができる。	3-1. 注や引用などの情報を加えて、意見が説得力をもつようにまとめることができる。	<b>3. まとめて伝える。</b> 
<b>4. アプリケーションソフトを使う。</b> 	<b>4. 集めた情報を並べて整理する。</b> 	<b>4. 分けてまとめる。</b> 	3-1. 伝えたいことが受け手に、よく伝わるようにまとめて話すことができる。
4-1. 課題や目的を達成するために、よりよいアプリケーションソフトをえらび、分かりやすくまとめることができる。	4-1. 集めた情報を、後で使いやすいように、自分なりに工夫して記録し、整理することができる。	4-1. 出来事と感想を書き分けてまとめることができる。	<b>4. 印象深く伝える。</b> 
<b>5. ICTをよりよく使う。</b> 	<b>5. 自分の考えと比べて集める。</b> 	<b>5. 分りやすくまとめる。</b> 	4-1. 印象深く伝えるように話し方を工夫して伝えることができる。
5-1. 情報を集める上で目的にあったICTをえらび、よりよく活用することができる。	5-1. 自分の考えとの共通点(おなじところ)や相違点(ちがうところ)を明らかにしながら情報を集めることができる。	5-1. 興味を引くようにキャラクターを入れて、分りやすくまとめることができる。	<b>5. 言葉を使い分けて伝える。</b> 
5-2. プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字、動画などを組み合わせ、アニメーション効果などをいれてまとめることができる。		5-2. 興味を引くように記号やマークを入れて、分りやすくまとめることができる。	5-1. 書き言葉と、話し言葉の違いに気づき、使い分けて伝えることができる。
5-3. 紙にまとめた資料で発表するために、よりよいICTをえらび伝えることができる。	*アプリケーションソフト・・・文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなど。		<b>6. 書いて伝える。</b> 
*ICT・・・デジタルカメラ・実物投影機・プロジェクターなど			6-1. 事実と意見を区別したり、引用部分を分かりやすくしたりして伝えることができる。
			<b>7. 分かりやすく伝える。</b> 
			7-1. 聞いている人の表情、視線、しぐさなどの反応を見ながら、よく分かるように説明を付け足したりしている。
			7-2. 伝えたい部分を指し示したり声の調子を変えたりするなどの工夫をして伝えることができる。
			7-3. 注目してほしいところに丸やアンダーラインなどの印を付けながら話すことができる。
			<b>8. 伝え方をよりよくする。</b> 
			8-1. 自分の発表の仕方と友達の発表の仕方を比べて、より良く伝えるためにはどのように発表すればよいのかについて助言することができる。
			8-2. 書いたものを読み合い、表現の仕方やまとめ方について、より良く伝えるためにはどのように工夫すれば言い助言しあうことができる。

# パワーチェックカード さくら ( )

<b>A.ICT かつよう</b>  チエック	<b>B.じょうほうを あつめる</b>  チエック	<b>C.じょうほうを まとめる</b>  チエック	<b>D.じょうほうを つたえる</b>  チエック
<b>1.コンピューターと あう。</b> 	<b>1.インタビューをして あつめる。</b> 	<b>1.てがみにしてまとめる。</b>	<b>1.みせてつたえる。</b> 
1-1.でんげんをいれたり、 けしたりできる。	1-1インタビューをすること ができる。	1-1.てがみにしてまとめ ることができる。	1-1.じつぶつをみせてつ たえることができる。
1-2.マウスをつかうことが できる。	1-2.インタビューしてじょう ほうをあつめることがで きる。	<b>2.えにつきでまとめる。</b> 	1-2.かみにまとめてつた えることができる。
<b>2.キーボードをつかう。</b> 	<b>2.かんさつをして あつめる。</b> 	2-1.えにつきにしてまと めることができる。	1-3.かんたんなげきにまと めてつたえることができ る。
2-1.キーボードをつかっ てもじをうつことができ る。	2-1.じっさいにかんさつ をしてじょうほうをあつめ ることができる。	<b>3.ポスターにまとめる。</b> 	<b>2.かんそうをつたえる。</b>
2-2.キーボードをつ かってたんごをにゆうりよ くできる。	<b>3.ためしてあつめる。</b> 	3-1かんたんなポスター にしてまとめることがで きる。	2-1.まとめたものをよみ、 おたがいいにかんそうをい う。
2-3・キーボードをつかっ てローマジにゆうりよくが できる。	3-1.じっさいにためして じょうほうをあつめること ができる。	<b>4.かんたんなぶんしょうにまとめ る。</b>	<b>3.わかりやすくつた える。</b> 
<b>3.デジタルカメラとコ ンピュータをつかう。</b> 	<b>4.ほんやずかんから あつめる。</b> 	4-1キーワードをつかっ て、かんたんなぶんしょう にまとめる	3-1あいてのほうをみな ながら、はなすことがで きる。
3-1.デジタルカメラでとり たいものをとることができる。	4-1.しらべたいことにつ いてかかれたほんやず かんからじょうほうあつめ ることができる。		3-2.しせいやこえのおお きさをいしきしながらはな すことができる。
3-2.デジタルカメラで とったものを、コンピュ ータにとりこめる。	<b>5.えやしやしんから あつめる。</b> 		3-3.ことばをはっきり、ま のと리카たをいしきしてつ たえることができる。
3-3.デジタルカメラで とったしやしんをいんさつ することができる。	5-1・しらべたいことにつ いてえやしやしんからじょう ほうをあつめることがで きる。		3-4.みぶりてぶりをいれ てわかりやすくつたえる ことができる。
3-4.デジタルカメラで とったしやしんをプロジェ クタやおおがたテレビな どにうつすことができる。	<b>6.デジタルカメラで あつめる。</b> 		
	6-1.デジタルカメラで とったしやしんからひつよ うなしやしんをえらぶこと ができる。		